

## 2022年3月期 決算説明会における主な質疑応答の要旨

この質疑応答集は、2022年5月12日（木）に行われたアナリスト・機関投資家向けテレフォンカンファレンスにて、ご参加の皆様から頂いた主なご質問をカテゴリー別にまとめたものです。理解促進のため一部内容の加筆修正を行っております。

### **Q：価格改定含めた利益改善や今後の収益性の考え方についてコメントください。**

A：国内の価格改定の話は適宜進めており、早いところは7月から改訂が決まっています。また、PB品等、特定の商品は随時リニューアルのタイミングで改訂を予定しており、上期中に完了させる目途としています。

海外に於いては現在、ウクライナ危機を背景に特にベルギー工場は原材料、包材、エネルギー等の高騰の影響を受けていますが、主な顧客の価格改定は6月から実施する予定です。その中でもフランス工場は今年の契約の関係で現在その影響は軽微ですが今後のコスト高騰に応じて値上げを予定いたします。

グループ全体で20%+の利益率を堅持していく方針は変わりませんが、成長の為の投資には減価償却がつきまとう中、一定の売上がたつまでにはタイムラグがあることもあります。それにより瞬間的に利益率が下がることはあっても中長期で利益成長を目指してまいります。

### **Q：欧州で展開するUHT製品について教えてください。**

A：今年の11月の稼働を目指すベルギー工場のUHT（Ultra-High-Temperature）設備で生産するストレートチキンブイオンは現在、販売候補先のフランスのスーパーマーケットとの商談に於いてもご好評頂いています。

アメリカ、スペイン、イタリアでその市場があっても現在フランスでその市場がないのは、伝統的な固形状のブイオンキューブが多くを占める中、リキッドのストレートチキンブイオンを作る抽出メーカーが無いこと又、フランスに良質な原料が無いことが大きな要因と思います。これは、他社の参入が困難な理由でもあります。

健康志向を背景に複合的に含有物の入ったブイオンキューブのようなものから「オーセンティック（本物の）」を求める傾向に合ったものであります。

以上